

# 再評価調書

NO. 1

事業名	砂防事業		事業区間	小谷川 鯖江市上戸口町		
事業目的						
<p>小谷川は、福井県鯖江市東部に位置し、人家15戸および市道を保全対象に含む土石流危険溪流である。 平成16年7月の福井豪雨により下流域の人家や道路等に土砂が流出した。現在も溪流の侵食・荒廃が激しく、溪床には多量の不安定土砂が堆積していることから、今後の豪雨時には土石流が発生する恐れがあるため、砂防堰堤を整備し下流域の住民の生命と財産を保全する必要がある。</p>						
全体事業内容						
堰堤工 1基 測量調査設計 1式 用地補償 1式						
事業計画	事業採択年度		用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度	
	平成29年度		平成30年度	令和3年度	令和6年度	
事業費（千円）		全体事業費	執行済み額 (R3年度まで)	進捗率 (R3末)	残事業費 (R4以降残額)	備考
予 算 額		420,000	212,730	50.7%	207,270	
財 源 内 訳	国 庫	200,000	101,300		98,700	
	県 他	220,000	111,430		108,570	
費用対効果		3.80（総便益15.41億円 総費用4.05億円）				
事業の進捗状況	R3までの状況	測量調査設計および用地補償が完了し、堰堤工に着手。				
	R4以降残事業	堰堤1基を完成させ、人家15戸および市道の公共施設を保全する。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	4.2億円	4.2億円	・変更なし			
完成予定年度	令和5年度	令和6年度	・用地の一部について、公図と現況が合わず、境界確定に時間を要したため、事業期間の1年延長が必要となった。			
事業を休止した場合の影響						
<p>今後の豪雨等により土石流が発生した場合、下流域の人家等に多大な被害が生じる恐れがある。</p>						
備 考						

# 再評価調書

NO. 2

事業名	急傾斜地崩壊対策事業		事業区間	福谷地区 大飯郡おおい町福谷		
事業目的						
<p>福谷地区は、保全対象として人家22戸および避難路である町道を含む最大がけ高45m、最大勾配45°の急傾斜地である。</p> <p>平成25年9月の台風18号時に斜面崩壊や落石が発生するなど、斜面の風化が進んでおり、今後も豪雨時にがけ崩れが発生する恐れがあるため、急傾斜地崩壊対策工事を実施し、住民の生命と財産を保全する必要がある。</p>						
全体事業内容						
崩壊土砂防護柵工 251m、擁壁工 30.8m、法面工 1,516m <sup>2</sup> 測量調査設計 1式 補償 1式						
事業計画	事業採択年度		用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度	
	平成29年度		平成30年度	令和元年度	令和6年度	
事業費（千円）		全体事業費	執行済み額 (R3年度まで)	進捗率 (R3末)	残事業費 (R4以降残額)	備考
予 算 額		462,000	269,450	58.3%	192,550	
財 源 内 訳	国 庫	219,840	128,150	/	91,690	
	県 他	242,160	141,300		100,860	
費用対効果		2.69（総便益12.16億円 総費用4.52億円）				
事業の進捗状況	R3までの状況	崩壊土砂防護柵工132.5m、擁壁工30.8mおよび法面工1,084m <sup>2</sup> が完成				
	R4以降残事業	残る崩壊土砂防護柵工118.5mおよび法面工432m <sup>2</sup> を完成させ、人家22戸と町道の公共施設を保全する。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	4.6億円	4.6億円	・変更なし			
完成予定年度	令和5年度	令和6年度	・工事用道路の借地交渉に時間を要したため、事業期間の1年延長が必要となった。			
事業を休止した場合の影響						
<p>今後の豪雨等により斜面崩壊が発生した場合、急傾斜地に面している人家等に多大な被害が生じる恐れがある。</p>						
備 考						

# 再評価調書

NO. 3

事業名	道路改良事業		事業区間	一般国道 417号 今立郡池田町板垣～越前市南坂下町		
事業目的						
<p>一般国道417号は、岐阜県大垣市から福井県丹生郡越前町に至る主要幹線道路であり、当該区間は第一次緊急輸送道路に指定されている。しかし、当該区間は豪雪地帯であるにも関わらず急勾配・急カーブが連続していることから、過去には交通事故や雪崩による通行止めが発生しており、安全で円滑な交通に支障をきたしている。</p> <p>そのため、安全で円滑な交通の確保を目的としてバイパスを整備し、強靱な緊急輸送路の確保や丹南地域の交流の活性化を図る。</p>						
全体事業内容						
全体延長 L=3,450m 内 トンネル 1本(L=2,475m)、橋梁 3橋 幅員8.5m(車道幅員5.5m)						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成29年度	平成30年度	平成30年度	令和6年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (R3年度まで)	進捗率 (R3末)	残事業費 (R4以降残額)	備考
予 算 額		9,600,000	4,829,920	50.3%	4,770,080	
財 源 内 訳	国 庫	5,500,420	2,719,464		2,780,956	
	県 他	4,099,580	2,110,456		1,989,124	
費用対効果		1.12(総便益110.4億円 総費用98.5億円)				
事業の進捗状況	R3までの状況	明かり部の橋梁2橋が令和元年までに完成しており、令和元年度からトンネル工事に着手している。				
	R4以降残事業	トンネル工事や明り部の道路改良工事を進め、令和6年度に事業区間全線の供用開始を目指す。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	90.0億円	96.0億円	・社会経済情勢の変化による労務費、機械経費、材料費、諸経費、消費税等の増(6.0億円)			
完成予定年度	令和6年度	令和6年度	・変更なし			
事業を休止した場合の影響						
<p>バイパス整備が休止した場合、当該区間において安全で円滑な交通を確保することができない。 また、今後冠山峠道路が開通予定であり、中京圏と丹南地域を結ぶネットワークの形成に支障をきたす。</p>						
備 考						

# 再評価調書

NO. 4

事業名	道路改良事業		事業区間	一般国道 158号 福井市境寺町～計石町		
事業目的						
<p>一般国道158号は、福井県福井市から長野県松本市に至る主要幹線道路であり、当該区間は第一次緊急輸送道路に指定されている。しかし、当該区間は道路幅員が狭く、急カーブの箇所があり、また、過去の大雨時には土砂流出を伴う通行止めが発生するなど、安全で円滑な交通に支障をきたしている。</p> <p>そのため、安全で円滑な交通の確保を目的としてバイパスを整備し、強靱な緊急輸送路の確保や福井市街地と奥越地域の交流の活性化を図る。</p>						
全体事業内容						
全体延長 L=5,320m 内 トンネル 2本(L=188m、L=1,167m)、橋梁 7橋 幅員9.5m(車道幅員6.5m)						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成24年度	平成28年度	平成30年度	令和10年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (R3年度まで)	進捗率 (R3末)	残事業費 (R4以降残額)	備考
予 算 額		11,000,000	2,530,887	23.0%	8,469,113	
財 源 内 訳	国 庫	6,062,211	1,359,837		4,702,374	
	県 他	4,937,789	1,171,050		3,766,739	
費用対効果		2.33(総便益225.8億円 総費用97.0億円)				
事業の進捗状況	R3までの状況	これまでに用地の7割を取得しており、用地取得した箇所において道路改良工事や橋梁工事に着手している。				
	R4以降残事業	残る用地の買収や道路改良工事を進め、令和10年度に事業区間全線の供用開始を目指す。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	98.0億円	110.0億円	・社会経済情勢の変化による労務費、機械経費、材料費、諸経費、消費税等の増(12.0億円)			
完成予定年度	令和5年度	令和10年度	・地凶混乱や相続問題等により用地交渉が難航し、事業期間の5年延長が必要となった。			
事業を休止した場合の影響						
バイパス整備が休止した場合、当該区間において安全で円滑な交通を確保することができない。						
備 考						

# 再評価調書

NO. 5

事業名	道路改良事業		事業区間	一般国道 162号 小浜市一番町～雲浜一丁目		
事業目的						
<p>一般国道162号は、京都府京都市右京区から福井県敦賀市に至る主要幹線道路であり、当該区間は小浜市街地を縦貫し、第一次緊急輸送道路に指定されている。しかし、当該区間の大手(おおて)橋・西津(にしづ)橋は架橋されてから80年以上経過しており、老朽化が著しく耐震性能も確保できていない。また、路肩がないため大型車のすれ違いが困難であり、安全で円滑な交通に支障をきたしている。</p> <p>そのため、老朽橋の架替えに合わせて現道拡幅や線形改良を行い、強靱な緊急輸送路の確保や安全で円滑な交通の確保を図る。</p>						
全体事業内容						
<p>全体延長 L=700m 内 橋梁 3橋 (L=119.0m(大手橋)、L=49.8m(城内橋)、L=135.6m(西津橋)) 幅員 一般部W=16.0m(車道幅員6.0m)、橋梁部W=13.0m(車道幅員6.0m)</p>						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成24年度	平成27年度	令和元年度	令和10年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (R3年度まで)	進捗率 (R3末)	残事業費 (R4以降残額)	備考
予 算 額		10,500,000	2,694,666	25.7%	7,805,334	
財 源 内 訳	国 庫	5,694,002	1,401,069		4,292,933	
	県 他	4,805,998	1,293,597		3,512,401	
費用対効果		1.31(総便益127.7億円 総費用97.5億円)				
事業の進捗状況	R3までの状況	平成27年度から事業用地の買収を進めており、令和元年度には橋梁の工事に着手している。				
	R4以降残事業	残る用地の買収や橋梁工事、道路改良工事を進め、令和10年度に事業区間全線の完成を目指す。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	72.5億円	105.0億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>地下水調査の結果から基礎杭型式の変更による増(13.0億円)</li> <li>工事用仮設構台の計画変更による増(2.7億円)</li> <li>遺構が確認されたことによる埋蔵文化財調査実施による増(3.6億円)</li> <li>社会経済情勢の変化による労務費、機械経費、材料費、諸経費、消費税等の増(13.2億円)</li> </ul>			
完成予定年度	令和5年度	令和10年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>用地交渉に時間を要したため、事業期間の2年延長が必要となった。</li> <li>埋蔵文化財調査にて遺構が発見され、発掘調査が行われたため事業期間の3年延長が必要となった。</li> </ul>			
事業を休止した場合の影響						
<p>橋梁の老朽化が著しく進行していることや耐震性能が確保できていないことから、今後橋梁区間が通行不能となる可能性が大きく、その場合、付近の住民に迂回を強いることになるため円滑な交通を確保することができない。</p>						
備 考						

# 再評価調書

NO. 6

事業名	港湾改修事業		事業区間	地方港湾 福井港 坂井市三国町新保		
事業目的						
<p>福井港は、嶺北地域の産業を担う流通港およびテクノポート福井を支える工業港としての役割を担っており、令和2年の取扱貨物量は、約136万トンで、主にタンカーや貨物船が利用している。</p> <p>当港は、九頭竜川付近に位置するため、本港地区・三国港地区ともに冬季風浪によって土砂が堆積しやすく、毎年、航路の浚渫を行っている。特に本港地区の中央航路は、毎年大量の砂が堆積し、平成24年2月6日には、貨物船の座礁事故も発生した。より安全な航路を確保するためには、航路内の堆砂量を7割程度減少できる北防砂堤の整備が重要となる。</p>						
全体事業内容						
北防砂堤延伸 L=600m						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成25年度	-	平成29年度	令和11年度		
事業費（千円）		全体事業費	執行済み額 (R3年度まで)	進捗率 (R3末)	残事業費 (R4以降残額)	備考
予 算 額		4,230,000	906,893	21.4%	3,323,107	
財 源 内 訳	国 庫	1,692,000	362,757		1,329,243	
	県 他	2,538,000	544,136		1,993,864	
費用対効果		1.49(総便益57.2億円 総費用38.2億円)				
事業の進捗状況	R3までの状況	全体延長600mのうち、既設防波堤側の190mが完成				
	R4以降残事業	引き続き残り410mの防砂堤工事を進め、令和11年度の完成を目指す				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	28.7億円	42.3億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>捨石材料について流用石材を見込んでいたが購入石材とする必要があったため(9.9億円)</li> <li>社会経済情勢の変化による労務費、機械経費、材料費、諸経費、消費税等の増(3.7億円)</li> </ul>			
完成予定年度	令和4年度	令和11年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>隣接航路の確保に伴い、近傍で行っている埋没浚渫工事との工法・施工時期の制限による工事の遅れが生じたため</li> </ul>			
事業を休止した場合の影響						
<p>冬季風浪等により航路に土砂が堆積し、航路確保のための浚渫工事に毎年数億円の費用が必要となる。また、暫定航路が改善されず、入港船舶に制限がかかり、船舶利用の増加が見込めない。</p>						
備 考						

# 再評価調書

NO. 7

事業名	道路改良事業		事業区間	一般国道 365号 丹生郡越前町梅浦		
事業目的						
<p>一般国道365号は、石川県加賀市から三重県四日市市に至る幹線道路であり、当該区間は丹南地域における地域間交流や観光・産業の振興、また第一次緊急輸送道路に指定されている。しかし、当該区間は道路幅員が狭く、急カーブの箇所があり、安全で円滑な交通に支障をきたしている。</p> <p>そのため、安全で円滑な交通の確保を目的としてバイパスを整備し、強靱な緊急輸送路の確保や越前町の観光・産業の振興を図る。</p>						
全体事業内容						
全体延長 L=1,220m 内 トンネル 1本(L=215m)、橋梁 3橋 幅員9.0m(車道幅員6.0m)						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成23年度	平成25年度	平成28年度	令和5年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (R3年度まで)	進捗率 (R3末)	残事業費 (R4以降残額)	備考
予 算 額		8,000,000	5,988,650	74.9%	2,011,350	
財 源 内 訳	国 庫	3,505,997	2,600,890	/	905,107	
	県 他	4,494,003	3,387,760		1,106,243	
費用対効果		1.00(総便益87.0億円 総費用86.6億円)				
事業の進捗状況	R3までの状況	平成29年度に用地の取得が完了しており、道路改良工事(橋梁やトンネル含む)に着手している。				
	R4以降残事業	引き続き道路改良工事を進め、令和5年度に事業区間全線の供用開始を目指す。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	66.0億円	80.0億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地山が軟弱で工事中に斜面が崩壊したため、法面補強が追加となったことによる増(1.8億円)</li> <li>・発生土が軟弱だったことから盛土材改良を追加、また発生土の仮置きが必要になったことによる増(3.1億円)</li> <li>・トンネル地山が軟弱で掘削時の補助工法が必要になったことによる増(1.2億円)</li> <li>・橋梁基礎工において湧水が発生したことによる止水対策が必要になったことによる増(0.7億円)</li> <li>・社会経済情勢の変化による労務費、機械経費、材料費、諸経費、消費税等の増(7.2億円)</li> </ul>			
完成予定年度	令和4年度	令和5年度	・工事用道路の仮橋に必要な材料について、全国的に納期が遅延し工事着手時期が遅れたため、事業期間の1年延長が必要となった。			
事業を休止した場合の影響						
・バイパス整備が休止した場合、当該区間において安全で円滑な交通を確保することができない。						
備 考						

# 再評価調書

NO. 8

事業名	道路改良事業		事業区間	一般国道 476号 今立郡池田町白栗		
事業目的						
<p>一般国道476号は、大野市から池田町を通過し敦賀市に至る主要幹線道路であり、当該区間は第一次緊急輸送道路に指定されている。しかし、当該区間は幅員が狭く、また、過去の大雨時には土砂流出を伴う通行止めが発生するなど、安全で円滑な交通に支障をきたしている。</p> <p>そのため、安全で円滑な交通の確保を目的としてバイパスを整備し、強靱な緊急輸送路の確保や丹南地域と奥越地域におけるネットワークの強化を図る。</p>						
全体事業内容						
<p>全体延長 L=928m 内 トンネル 1本(L=613m)、橋梁 1橋 幅員9.0m(車道幅員6.0m)</p>						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和7年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (R3年度まで)	進捗率 (R3末)	残事業費 (R4以降残額)	備考
予 算 額		3,600,000	2,450,000	68.1%	1,150,000	
財 源 内 訳	国 庫	2,065,000	1,394,550	/	670,450	
	県 他	1,535,000	1,055,450		479,550	
費用対効果		1.02(総便益37.7億円 総費用36.8億円)				
事業の進捗状況	R3までの状況	令和元年度に用地取得が完了し、トンネル工事や橋梁工事に着手している。				
	R4以降残事業	引き続き橋梁工、トンネル工を進め、令和7年度に事業区間全線の供用開始を目指す。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	27.0億円	36.0億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地質調査の結果、トンネル地山が軟弱で掘削時の補助工法が必要になったことによる増(3.8億円)</li> <li>・残土搬出先の変更が必要になったことによる増(2.6億円)</li> <li>・社会経済情勢の変化による労務費、機械経費、材料費、諸経費、消費税等の増(2.6億円)</li> </ul>			
完成予定年度	令和7年度	令和7年度	・変更なし			
事業を休止した場合の影響						
<p>バイパス整備が休止した場合、当該区間において安全で円滑な交通を確保することができない。</p>						
備 考						



# 再評価調書

NO. 9

事業名	砂防事業		事業区間	宮ノ谷川 大飯郡高浜町難波江		
事業目的						
<p>宮ノ谷川は、人家15戸および県道等を保全対象に含む土石流危険渓流である。          平成25年9月の台風18号により下流域の人家等に土砂が流出した。現在も渓流の侵食・荒廃が激しく、渓床には多量の不安定土砂が堆積していることから、今後の豪雨時には土石流が発生する恐れがあるため、砂防堰堤および渓流保全工を整備し下流域の住民の生命と財産を保全する必要がある。</p>						
全体事業内容						
堰堤工 1基 渓流保全工 120m 測量調査設計 1式 用地補償 1式						
事業計画	事業採択年度		用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度	
	平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和5年度	
事業費（千円）		全体事業費	執行済み額 (R3年度まで)	進捗率 (R3末)	残事業費 (R4以降残額)	備考
予 算 額		357,000	150,250	42.1%	206,750	
財 源 内 訳	国 庫	170,952	72,500		98,452	
	県 他	186,048	77,750		108,298	
費用対効果		5.76（総便益19.54億円 総費用3.39億円）				
事業の進捗状況	R3までの状況	測量調査設計および用地補償が完了し、堰堤工に着手。				
	R4以降残事業	堰堤1基および渓流保全工120mを完成させ、人家15戸および県道等の公共施設を保全する。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	2.7億円	3.6億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残土の処分地を、他事業への利用から残土処理場に変更したことによる増(0.4億円)</li> <li>・社会経済情勢の変化による労務費、機械経費、材料費、諸経費、消費税等の増(0.5億円)</li> </ul>			
完成予定年度	令和4年度	令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用地に地役権が設定してあることが判明し、その協議に時間を要したため、事業期間の1年延長が必要となった。</li> </ul>			
事業を休止した場合の影響						
<p>今後の豪雨等により土石流が発生した場合、下流域の人家等に多大な被害が生じる恐れがある。</p>						
備 考						

# 再評価調書

NO. 10

事業名	海岸侵食対策事業		事業区間	竹波海岸 三方郡美浜町竹波		
事業目的						
竹波海岸では、近年、高波浪の頻度が増大傾向にある。離岸堤建設により、汀線の前進がみられたものの、近年、局所的な汀線の後退が見られる。過去5か年(2012年度～2016年度)の間に、護岸背後の県道141号において越波による砂流出が計5回生じており、今後、越波により県道141号の通行障害や背後地の民家や旅館等が存在する集落における浸水被害の生じる恐れがあるため、近年の高波浪に対応した海岸侵食対策を実施する必要がある。						
全体事業内容						
離岸堤(潜堤) 1基 洗堀防止対策 1式 測量設計 1式						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	令和元年度	-	令和2年度	令和5年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (R3年度まで)	進捗率 (R3末)	残事業費 (R4以降残額)	備考
予 算 額		273,000	226,800	83.1%	46,200	
財 源 内 訳	国 庫	130,000	108,000	/	22,000	
	県 他	143,000	118,800		24,200	
費用対効果		1.86 (総便益5.53億円 総費用2.97億円)				
事業の進捗状況	R3までの状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>離岸堤(潜堤)1基は整備完了</li> <li>洗堀防止対策は、延長260mのうち160mが整備完了</li> </ul>				
	R4以降残事業	洗堀防止対策を100m整備し越波被害の軽減を図る。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	2.5億円	2.7億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会経済情勢の変化による労務費、機械経費、材料費、諸経費等の増(0.4億円)</li> <li>対策工法変更によるコスト縮減(-0.2億円)</li> </ul>			
完成予定年度	令和5年度	令和5年度	変更なし			
事業を休止した場合の影響						
越波による県道141号の通行障害や民家・旅館等の浸水被害が生じる恐れがある。						
備 考						

# 再 評 価 調 書

NO. 11

事業名	街路事業		事業区間	都市計画道路 敦賀駅東線 敦賀市 木ノ芽町～中		
事業目的						
<p>事業箇所の敦賀駅東地区は、敦賀市都市計画マスタープランにおいて、将来の広域拠点として位置づけられており、令和5年度末の北陸新幹線敦賀駅開業に伴い拠点機能の向上が計画されている。</p> <p>現在、国道8号バイパスから新幹線駅へは、駅西地区からしかアクセスできない状況であるため、当事業の整備により、交通結節点である敦賀駅東の駅前広場と国道8号バイパスを連結し、新幹線駅へのアクセス性を向上させ、広域拠点としての機能を高めるものである。</p>						
全体事業内容						
全体延長 L=692m 橋梁1橋、幅員 W=12.5m(車道幅員6.5m)						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成29年度	平成30年度	平成30年度	令和5年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (R3年度まで)	進捗率 (R3末)	残事業費 (R4以降残額)	備考
予 算 額		2,670,000	2,118,094	79.3%	551,906	
財 源 内 訳	国 庫	1,332,309	1,069,497		262,812	
	県 他	1,337,691	1,048,597		289,094	
費用対効果		1.26(総便益37.3億円 総費用29.6億円)				
事業の進捗状況	R3までの状況	平成30年度から用地買収を進めており、同年度より橋梁工事等の道路改良工事に着手している。				
	R4以降残事業	引き続き道路改良工事を進め、令和5年度末の全線供用開始を目指す。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	25.0億円	26.7億円	・社会経済情勢の変化による労務費、機械経費、材料費、諸経費、消費税等の増(1.7億円)			
完成予定年度	令和4年度	令和5年度	・北陸新幹線の開業1年延期に伴う工程調整の結果、事業期間の1年延長が必要となった。			
事業を休止した場合の影響						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新幹線敦賀駅前広場等との一体的整備ができず、広域拠点として機能しない。</li> <li>・新幹線敦賀駅と国道8号バイパスのアクセスが確保されず、新幹線敦賀駅からの観光ネットワーク等が形成されない。</li> </ul>						
備 考						

# 再評価調書

NO. 12

事業名	道路改良事業		事業区間	福井港丸岡インター連絡道路(I期区間) 坂井市坂井町福島～丸岡町八ツ口		
事業目的						
<p>福井港丸岡インター連絡道路は、福井県坂井市を東西に横断し、広域交流拠点である「福井港」および県下最大の工業団地である「テクノポート福井」と北陸自動車道丸岡インターとを直結する延長約20kmの地域高規格道路である。本事業は、福井県北部の道路ネットワークを強化し、地域産業の活性化および観光振興、災害発生時の緊急物資輸送道路としての機能確保や渋滞解消を整備目的とした事業である。</p>						
全体事業内容						
<p>全体延長 L=3,600m、幅員10.5m(車道幅員6.5m)(暫定2車線) うち 橋梁 3橋</p>						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度(※)		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	令和9年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (R3年度まで)	進捗率 (R3末)	残事業費 (R4以降残額)	備考
予 算 額		19,000,000	5,892,000	31.0%	13,108,000	全体事業費 (事務費込み) 199.2億円
財 源 内 訳	国 庫	10,450,000	3,240,600		7,209,400	補助率 0.55
	県 他	8,550,000	2,651,400		5,898,600	
費用対効果		1.23(総便益208.0億円 総費用169.2億円)				
事業の進捗状況	R3までの状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・測量、設計</li> <li>・用地買収、物件補償</li> <li>・埋蔵文化財試掘調査</li> <li>・道路改良工事</li> </ul>				
	R4以降残事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋蔵文化財発掘調査</li> <li>・道路改良工事</li> <li>・橋梁工事</li> </ul>				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	96.0億円	190.0億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軟弱地盤に伴う橋梁および橋梁取付擁壁の構造見直しによる増(41.9億円)、農市道アンダー部の対策追加による増(19.5億円)</li> <li>・埋蔵文化財調査の対象面積が増えたことによる増(20.6億円)</li> <li>・用地補償他(12.0億円)</li> </ul>			
完成予定年度(※)	令和7年度	令和9年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軟弱地盤に伴う上記工事の追加により工事量が増えたため、工程を見直す必要が生じた</li> </ul>			
事業を休止した場合の影響						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・嶺北北部の東西方向の道路ネットワークが強化されず、地域産業の活性化や観光振興の機会が失われる</li> <li>・主要渋滞箇所である一本田交差点での交通渋滞やクラック状態が解消しない</li> <li>・整備中の(一)福井森田丸岡線との連続性が確保できず、ネットワークが構築されない</li> </ul>						
備 考	(※)「完成予定年度」は、費用対効果の便益を算定する上で仮定したものである。					